

父母インタビュー

国際関係学部 国際学科 4年生のご両親

就職活動が終わって ほっとしています

小学生の頃からK-POPが好きだった娘は、ずっと韓国に夢中です。高校時代には韓国地域研究などが専門の澁谷鎮明先生のお話を伺う機会に恵まれ、澁谷先生が所属されている中部大学国際関係学部への進学を強く希望するようになりました。念願がなかって中部大学に入学。憧れの韓国へは短期留学を果たし、澁谷ゼミの選考にも通過して、研究室で意欲的に学んでいます。ここまで順調に進んできた娘ですが、就職活動はかなりのプレッシャーだったようです。私たち親も情報を得るために、去年は初めて「父母との集い」に参加しました。幸いなことに、最近になって志望先から内々定をいただき、娘の表情にも明るさが戻ってきました。今年の「父母との集い」は、少し肩の力を抜いて楽しみたいと思います。

工学部 電気電子システム工学科 1年生のご両親

大学生はもう大人 干渉せずに見守ります

息子がどんなことを学び、どのような進路があるのかを知りたくて、「父母との集い」に参加しました。入学してまだ数カ月ですが、息子は2つのサークルを掛け持ちして忙しいように過ごしています。生活時間もすれ違いがちなので、親子でじっくり話す時間はあまりありません。「今日は午後から授業がある」「帰りが遅くなりそう」など、連絡もほとんど一言だけです。それでも、毎朝ひとりで起きて自分で作ったお弁当を持って通学している姿を見ると、自立した生活ができていると感じます。もう立派な大人ですから必要以上の干渉はせずに見守っていますが、人生の先輩としてあえて一言アドバイスをするなら、将来の就職活動に備えて今のうちから何か資格取得にチャレンジしておくといいよ、と伝えたいです。

理工学部 宇宙航空学科 2年生のご両親

就職に関する情報に 早めに触れられる機会

「父母との集い」への参加は今回で2回目です。子どもの学年が変われば親として知っておきたい情報も変わりますし、大学の方針にも継続して触れておきたいので、今後も参加するつもりです。今年の宇宙航空学科の学科説明会では、就職に関するお話に興味を惹かれました。本格的な就職活動が始まるのは3年生になってからですが、宇宙航空学科には2年生のうちから企業のものづくり現場に触れられる「工場見学」「工場実習」が用意されているとのこと。ただ、息子自身はまだ就職への関心があまりないようなので、親だけがその気になっていても仕方ありませんよね。就職の準備は早過ぎることはないと思いますが、まずは学業にしっかり取り組みながら、将来についても少しずつ考えていってほしいです。

経営情報学部 経営総合学科 1年生のご両親

充実した内容の キャンパスツアー

息子に通っている大学を一度きちんと見ておきたいと思い、「父母との集い」の「キャンパスツアー」に参加しました。予想以上に充実した内容で大満足です。キャンパス内を歩きながら、各施設の名称や利用方法について丁寧に説明を受けました。たとえば、パソコンルーム。重たい個人用ノートパソコンを持ち歩かなくても、この部屋から課題やレポートを提出できるそうです。便利な時代になりましたね。説明の中には、学生でもあまり知らないようなレアな情報が含まれているとのことで、息子に「これ知ってる？」と聞いてみたいと思います。ツアーの案内役は4年生の学生さんで、とてもしっかりされており、感心しました。数年後には息子も彼のように成長していけたらいいなと期待が膨らみました。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 3年のお母様

息子が目指す道の 厳しさを実感

高校時代、打ち込んでいた野球でケガをして救急車にお世話になったことをきっかけに、息子は救急救命士を目指すようになり、スポーツ保健医療学科で学んでいます。今日の「父母との集い」の学科説明会では、救急救命士になることの難しさを改めて実感しました。たとえ2年生でも、必要な単位を取得できていなければ国家試験の受験資格は得られないそうです。さらに、救急救命士として働くためには、消防士採用試験にも合格する必要があります。息子からは「友だちと講義室に残って勉強している」という連絡がしばしば届くので、頑張っている様子は伝わってきますが、必要な単位がきちんと取れているかはやはり気になります。帰宅したら、さりげなく本人に確認してみようと思います。

人文学部 歴史地理学科 3年生のご両親

大学院進学も視野に 後悔のない選択を

いよいよ息子も3年生。「父母との集い」の学科説明会では、就職に関する説明に多くの時間が割かれていました。歴史地理学科のこれまでの就職実績として挙げられていたのは、金融機関や官公庁など、思っていた以上に多様な進路。親としては、息子の性格に合いそうな公務員を勧めたい気持ちもありますが、本人は大好きな歴史を学び続けられる大学院への進学か、文系学部卒には有利な新卒での就職かで迷っているようです。そんな中、アルバイト先の親会社の方から声を掛けていただき、今夏のインターシップに参加することになりました。進学も視野に入れながらの就職活動がスタートです。どの道へ進むにしても、息子が納得した上での選択なら、心から応援したいと思っています。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻4年のご両親

いよいよ始まった 教員採用試験

今日、息子は教員採用試験の二次試験を受けるために静岡県へ向かいました。愛知県の採用試験については、一次試験が終わって結果待ちの状況です。愛知県もしくは静岡県で小学校の理科教員になることを目指して学んできた息子も、もう4年生。息子の通う大学を訪れる機会は貴重なので、これまでも欠かさずに「父母との集い」に参加してきましたが、今年は最後の機会です。お世話になった先生方にご挨拶したいと思って申し込みました。また、学科説明会は現代教育学部棟に保護者が入ることのできる数少ない催しです。今後、キャンパスを訪問できる機会は大学祭ぐらいになります。その頃には息子が“先生”になることが決定していて、晴れやかな気持ちで訪れることができればいいなと願っています。

応用生物学部 応用生物化学科 3年のご両親

親子共通の話題は バイオインフォマティクス

娘はもともと生物学の分野に興味があり、突き詰めて勉強したいと応用生物学部に進学しました。当初は純粋に学問への意欲から進んだ道のようにでしたが、最近は化粧品の商品開発をしてみたいと話すようになりました。私は材料系の技術者ですので、お互いに関心があるバイオインフォマティクスに関する情報などを交換し合うようになり、親子の会話に広がり生まれています。講義でわからないことがあると相談を受けることも増えました。そんな娘は、すでに大学院への進学を決めています。本人はまだのんびり構えていますが、そろそろ情報収集を始める時期です。今日の「父母との集い」では、AIKOKIKI HALL(第2学生ホール)で学食をいただきました。大学へ訪れることで娘との共通の話題を手に入れられるのは嬉しいですね。